



道南バス株式会社



三井住友カード



QUADRAC

Atrass



ODAWARA

NEWS RELEASE

2026年10月30日

各位

道南バス株式会社
三井住友カード株式会社
株式会社ジェーシービー
QUADRAC 株式会社
北海道アトラス株式会社
株式会社小田原機器

stera transit 胆振 MaaS 推進事業 2026年11月10日より実証実験を開始！

～道南バス全路線へクレジットカード等のタッチ決済による乗車サービス「クレカ乗車」を拡大
さらに、総合交通サービス「Pass Case」による乗車券等の販売を開始～

道南バス株式会社（以下：道南バス）、三井住友カード株式会社（以下：三井住友カード）、株式会社ジェーシービー、QUADRAC 株式会社（以下：QUADRAC）、北海道アトラス株式会社、株式会社小田原機器は、2026年11月10日（火）より、道南バスが運営する路線バス全路線へクレジットカード等のタッチ決済による乗車サービス「クレカ乗車」^{（※1）}を拡大します。128路線、263台への導入となり、北海道内における「クレカ乗車」に対応する路線としては、最大^{（※2）}の路線数への導入となります。また同日より、国土交通省の令和8年度「観光 MaaS 推進事業」の採択を受け、stera transit 胆振 MaaS 推進事業における実証実験を開始します。

実証実験では、三井住友カードの総合交通サービス「Pass Case」にて、タクシークーポンや室蘭市と登別市のアクティビティ施設の特典を付帯した企画券の販売を行います。また、「クレカ乗車」により得られる移動・消費データを分析し、市民や来訪者による公共交通の利用促進を目指します。

（※1）三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用した、タッチ決済対応のカード（クレジットカード・デビット・プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等による乗車サービス。

（※2）2026年11月時点。三井住友カード調べ。



【道南バス】

【「クレカ乗車」概要】

■乗車方法

乗車時に整理券をお取りいただきます。降車時に整理券を所定の投入口へ入れていただき、お手持ちのタッチ決済対応のカード（クレジットカード・デビット・プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等を専用端末にかざすことで、そのまま降車いただけます。



【乗車時】



【降車時】

※写真はイメージです

■対象路線

道南バス全路線（すでに導入済みの登別駅前～足湯入口の路線を含め 128 路線、263 台）

■対応ブランド

Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯



■開始日

2026 年 11 月 10 日（火）

（※）一部のバスでは、「クレカ乗車」が未導入の場合がございます。ご利用にあたり詳細は乗車時に乗務員へお尋ねください。

【stera transit 胆振 MaaS 推進事業 概要】

■背景

北海道胆振総合振興局管内では、道南バスや、鉄道、都市間高速バス、コミュニティカー等の交通手段が運行されていますが、人口減少や高齢化に伴う利用者の減少に加え、市民の移動ニーズに応じた交通網の再編や観光客の移動手段の充実も課題となっています。こうした状況を踏まえ、市民や来訪者の移動を支える公共交通の利用促進と、まちづくり・観光等、他分野と連携した総合的なサービスの実現を目指す一環として、道南バスと連携自治体は 2026 年 4 月に「stera transit 胆振 MaaS 協議会」を設立し、キャッシュレス化やデータ活用によるサービス向上、公共交通の利用促進と交通事業者の持続的な発展に向け、取り組んでいます。

道南バスでは、2024 年 10 月より登別駅前～足湯入口の路線で「クレカ乗車」を導入しています。これまで、事前のチャージや乗車券の購入が不要となる利便性が、訪日外国人を含む多様なお客さまのニーズに対応するとともに、乗務員の現金対応や案内にかかる負担軽減にもつながっていることから、今回、全路線への導入拡大および実証実験を開始することとなりました。

参考) https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000160.html

■実証実験の詳細

1. 総合交通サービス「Pass Case」での企画券販売

総合交通サービス「Pass Case」にて、道南バスの乗車券（対象路線のみ）に加え、地元のタクシー・ハイヤーのクーポンとアクティビティのクーポン等の特典がセットになった企画券を、2026 年 12 月以降に販売します。企画券を購入いただいたお客さまは、「Pass Case」で登録したクレジットカード等をバスの専用端末にかざすだけで、スムーズに道南バスへの乗車が可能です。

・販売予定企画券（道南バス対象路線）

(1) 室蘭市内 1 日フリーチケット（特典付き、対象区間：室蘭市内路線）

(2) 登別駅前～登別温泉 1 日フリーチケット（特典付き、対象区間：登別駅～登別温泉～足湯入口）

企画券および特典の詳細につきましては、「Pass Case」公式サイトまたはアプリでご確認いただけます。なお、企画券の販売は予告なく終了する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

（URL：<https://www.smbc-card.com/camp/passcase/index.html>）



2. 移動・消費データの分析

「stera transit」では乗降データに加え、三井住友カードが保有する利用者の属性データ・購買データを掛け合わせることで、公共交通機関をどのような人がどのような目的で利用しているのか、実データに基づいて把握することが可能です。実証実験でのデータを収集することで、地域生活者に対する公共交通サービスのレベルアップと利便性向上の検討に貢献します。

【各社概要】

道南バス株式会社	本社 北海道室蘭市、代表取締役社長 長谷川 義郎 役割：タッチ決済乗車サービス提供、タッチ決済を認証媒体とした MaaS 企画券による乗降サービス提供、車内および停留所での認知向上活動、実証実験期間中における企画券等の検討
三井住友カード株式会社	本社 東京都江東区、代表取締役社長 佐々木 丈也 役割：キャッシュレス決済導入支援、stera プラットフォーム提供(stera transit)、Visa、Mastercard、銀聯のタッチ決済に関する導入支援・認知プロモーション
株式会社ジェーシービー	本社 東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長 二重 孝好 役割：キャッシュレス決済導入支援、JCB および American Express、Diners Club、Discover のタッチ決済に関する導入支援・認知プロモーション
QUADRAC 株式会社	本社 東京都中央区、代表取締役社長 高田 昌幸 役割：交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム“Q-move”の提供
北海道アトラス株式会社	本社 北海道札幌市、代表取締役 川西 哲也 役割：キャッシュレス決済用端末の設置・運営
株式会社小田原機器	本社 神奈川県小田原市、代表取締役社長 津川 直樹 役割：キャッシュレス決済用端末およびシステムの開発・提供

（参考 1）乗降履歴確認方法

交通事業者向け決済及び認証のプラットフォームを提供するQUADRACのQ-moveサイト (<https://q-move.info/>)にアクセスいただき、「マイページ」の会員登録手続きの後、ご覧いただけます。



（参考 2）タッチ決済について

タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）または、カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要^(※)で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用いただける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進む等、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。



（※）一定金額以上のお支払いの場合は、サインまたは IC カードの挿入と暗証番号入力等の本人確認が必要となることがあります。

（参考 3）「stera transit」について

（URL : <https://www.smbc-card.com/kamei/stera/transit/index.jsp>）

stera
transit

決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMO ペイメントゲートウェイ・GMO フィナンシャルゲートおよび Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」等、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しております。

以 上